

## 「県民活動白書」の刊行に当たって

本県では、少子高齢化の進行や、若者・女性を中心とした県外への流出により、人口減少が一段と深刻さを増しており、あらゆる分野における人手不足の深刻化に加え、日常生活に不可欠なサービス基盤の維持にも大きな影響が生じています。

こうした状況を克服し、活力ある未来を築いていくため、様々な課題の解決に向けて自主的・主体的に取り組む県民活動は、本県ならではの豊かさと幸せを実感できる地域社会を創り上げていく上で、重要な役割を果たしています。



このため、県では、総合計画である「やまぐち未来維新プラン」の重点施策に、「県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進」を掲げるとともに、「山口県県民活動促進基本計画」の基本目標として、「誰もが県民活動に参加し、県民パワーで創る『安心で希望と活力に満ちた山口県』の実現」を定め、県民活動の一層の促進に向けた様々な取組を展開しているところです。

本年度は、山口きらら博記念公園でのイベントや高校・大学等と連携したボランティア体験会等を開催し、若者による県民活動への理解と参加を促進するとともに、プロボノワーカーの積極的な活用を通じた県民活動団体の基盤強化や、「協働ファシリテーター」の養成・配置による活動団体と多様な主体との協働を推進するなど、更なる県民活動の活発化に取り組んでまいります。

この白書は、「山口県県民活動促進条例」に基づく年次報告書であり、本県における県民活動の現状や課題について明らかにするとともに、県や市町、関係機関等の令和6年度に講じた施策や令和7年度の計画等について紹介しています。

本書を通じて、県民活動に関する理解が一層深まり、より多くの県民の皆様が積極的に県民活動に参加されることによって、活動がさらに活発化していくことを心から願っています。

令和7年（2025年）10月

山口県知事 村岡嗣政